

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-125993

(43)Date of publication of application : 11.05.2001

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

(21)Application number : 11-307359

(71)Applicant : NTT PC COMMUNICATIONS:KK

(22)Date of filing : 28.10.1999

(72)Inventor : KAMIMURA IKUKO
WATABE TETSUYA
ROYAMA NOBUYUKI
ITO YOSHINORI
OUCHI YUKIO

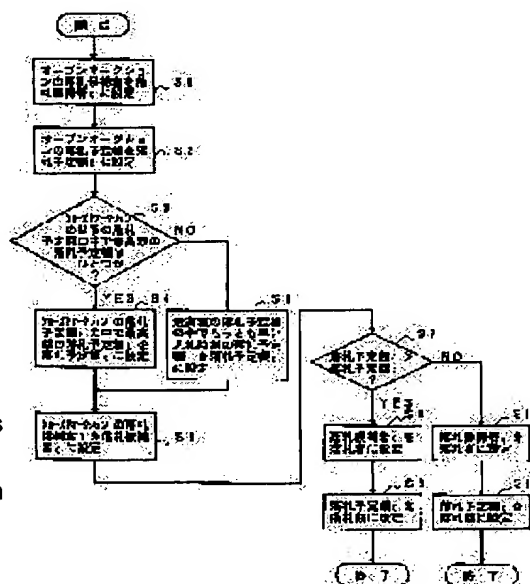
(54) AUCTION METHOD, AUCTION SYSTEM AND RECORDING MEDIUM IN WHICH AUCTION PROGRAM IS RECORDED

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an auction method and an auction system to perform auction with both advantages of an open type and a closed type on a network and to further enhance convenience of a user.

SOLUTION: At least merchandise information and auction period are transmitted to a user's terminal, whether an open type bid to display a bid price as a bid state or a closed type bid to display no bid price as the bid state is performed is selected for each user according to selection by the user, a bid processing to receive the bid price from the user's terminal is performed by transmitting the bid state only corresponding to the open type bid to the user's terminal and a contract price and a winning bidder are decided after completion of the auction period. In addition, in the bid processing, a bid screen is constituted by providing a price addition key and a price subtraction key for input of the bid price.

オ プンとクローズドの両タイプの落札決定処理に於ける
オークションシステムの動作を要するフローチャート



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.10.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-125993
(P2001-125993A)

(43)公開日 平成13年5月11日(2001.5.11)

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 19/00

識別記号

F I
G 0 6 F 15/28

テマコード(参考)
B 5 B 0 4 9

審査請求 有 請求項の数12 O L (全 13 頁)

(21)出願番号 特願平11-307359
(22)出願日 平成11年10月28日(1999. 10. 28)

(71)出願人 397014282
株式会社エヌ・ティ・ティピーシーコミュニケーショonz
東京都港区新橋6-1-11
(72)発明者 上村 育子
東京都港区新橋6丁目1番11号 株式会社エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケーションズ内
(74)代理人 100070150
弁理士 伊東 忠彦

最終頁に続く

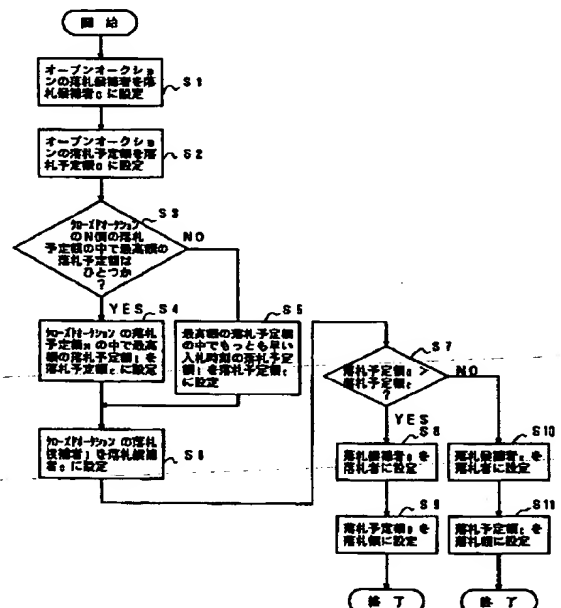
(54)【発明の名称】 オークション方法、オークションシステム及びオークションプログラムを記録した記録媒体

(57)【要約】

【課題】 ネットワーク上でオープン型とクローズド型の利点を兼ね備えたオークションを行い、更に、利用者の利便性を向上させたオークション方法及びオークションシステムを提供することを目的とする。

【解決手段】 少なくとも商品情報とオークション期間を利用者の端末に送信し、利用者の選択に応じて、入札額を入札状況として表示するオープン型入札を行うか、入札額を入札状況として表示しないクローズド型入札を行うかを利用者毎に選択し、前記オープン型入札のみに対応する入札状況を利用者の端末に送信して該利用者の端末から入札額を受信する入札処理を行い、前記オークション期間終了後に落札額及び落札者を決定する。また、前記入札処理において、入札画面に入札額の入力のための金額加算ボタン及び金額減算ボタンを設けるように構成する。

オープンとクローズドの併合型の落札者決定処理における
オークションシステムの動作を概すフローチャート



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワーク上で複数の利用者に対してオークションを行うオークション方法であって、少なくとも商品情報とオークション期間を利用者の端末に送信する商品表示ステップと、利用者の選択に応じて、入札額を入札状況として表示するオープン型入札を行うか、入札額を入札状況として表示しないクローズド型入札を行うかを利用者毎に選択する選択ステップと、前記オープン型入札のみに対応する入札状況を利用者の端末に送信し、該利用者の端末から入札額を受信する入札ステップと、前記オークション期間終了後に落札額及び落札者を決定する決定ステップとを有することを特徴とするオークション方法。

【請求項 2】 前記入札ステップは、オープン型入札の利用者に対する入札下限額を利用者の端末に送信し、オープン型入札の利用者の端末から受信した入札額を入札下限額とするステップを有し、前記決定ステップは、オープン型入札の最後の入札額を第 1 の落札予定額とし、クローズド型入札における最高額の入札額を第 2 の落札予定額とするステップと、第 1 の落札予定額と第 2 の落札予定額とを比較して額の大きいほうを落札額に決定するステップとを有する請求項 1 に記載のオークション方法。

【請求項 3】 前記クローズド型入札における最高額が複数である場合に、その複数の入札額の中で最も早く入札された入札額を前記第 2 の落札予定額とする請求項 2 に記載のオークション方法。

【請求項 4】 前記入札ステップにおいて、利用者の端末に表示する入札画面に前記入札額の入力に使用する金額加算ボタン及び金額減算ボタンを設けるようにした請求項 1 乃至 3 のうちいずれか 1 項に記載のオークション方法。

【請求項 5】 ネットワーク上で複数の利用者に対してオークションを行うオークションシステムであって、少なくとも商品情報とオークション期間を利用者の端末に送信する商品表示手段と、利用者の選択に応じて、入札額を入札状況として表示するオープン型入札を行うか、入札額を入札状況として表示しないクローズド型入札を行うかを利用者毎に選択する選択手段と、前記オープン型入札のみに対応する入札状況を利用者の端末に送信し、該利用者の端末から入札額を受信する入札手段と、前記オークション期間終了後に落札額及び落札者を決定する決定手段とを有することを特徴とするオークションシステム。

【請求項 6】 前記入札手段は、

オープン型入札の利用者に対する入札下限額を利用者の端末に送信し、オープン型入札の利用者の端末から受信した入札額を入札下限額とする手段を有し、

前記決定手段は、

オープン型入札の最後の入札額を第 1 の落札予定額とし、クローズド型入札における最高額の入札額を第 2 の落札予定額とする手段と、第 1 の落札予定額と第 2 の落札予定額とを比較して額の大きいほうを落札額に決定する手段とを有する請求項 5 に記載のオークションシステム。

【請求項 7】 前記クローズド型入札における最高額が複数である場合に、その複数の入札額の中で最も早く入札された入札額を前記第 2 の落札予定額とする請求項 6 に記載のオークションシステム。

【請求項 8】 前記入札手段は、利用者の端末に表示する入札画面に前記入札額の入力に使用する金額加算ボタン及び金額減算ボタンを設ける手段を有する請求項 5 乃至 7 のうちいずれか 1 項に記載のオークションシステム。

【請求項 9】 ネットワーク上で複数の利用者に対してオークションを行う処理をコンピュータに実行させるオークションプログラムを記録した記録媒体であって、少なくとも商品情報とオークション期間を利用者の端末に表示する商品表示手順と、

利用者の選択に応じて、入札額を入札状況として表示するオープン型入札を行うか、入札額を入札状況として表示しないクローズド型入札を行うかを利用者毎に選択する選択手順と、

前記オープン型入札のみに対応する入札状況を利用者の端末に表示し、該利用者の端末から入札額を受信する入札手順と、

前記オークション期間終了後に落札額及び落札者を決定する決定手順とをコンピュータに実行させることを特徴とするオークションプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 10】 前記入札手順は、

オープン型入札の利用者に対する入札下限額を利用者の端末に送信し、オープン型入札の利用者の端末から受信した入札額を入札下限額とする手順を有し、

前記決定手順は、

オープン型入札の最後の入札額を第 1 の落札予定額とし、クローズド型入札における最高額の入札額を第 2 の落札予定額とする手順と、第 1 の落札予定額と第 2 の落札予定額とを比較して額の大きいほうを落札額に決定する手順とを有する請求項 9 に記載のオークションプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 11】 前記クローズド型入札における最高額が複数である場合に、その複数の入札額の中で最も早く入札された入札額を前記第 2 の落札予定額とする手順を有する請求項 10 に記載のオークションプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 12】 前記入札手順は、利用者の端末に表示する入札画面に前記入札額の入力に使用する金額加算ボタン及び金額減算ボタンを設ける手順を有する請求項 9 乃至 11 のうちいずれか 1 項に記載のオークションプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はインターネット等のネットワーク上でオークションサービスを提供する技術に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネット上でオークション形式により商品等を販売するサービスが普及しつつある。従来のインターネット上でのオークションは一般に次のようにして行われる。ユーザはまずオークションサービスを提供しているホームページにアクセスし、氏名等を入力することによって登録を行う。次に、複数の商品が掲載されたページにアクセスし、興味のある商品を選択する。個別の商品のページにおいて、金額上げ幅等の指定されたパラメータに準拠して各種情報を入力することによってユーザはオークションに参加する。そして、その商品のオークション開催期間が経過した後に落札者が決定される。例えば、商品が 1 つで上記のユーザが最高値を入力していた場合には上記ユーザにみが落札者として決定され、その商品を購入することができる。

【0003】 従来技術では、上述したオークションへの参加場面で以前に参加した参加者の入札価格が見える型（本明細書ではこの型をオープン型と称する）と、以前に参加した参加者の入札価格が見えない型（本明細書ではこの型をクローズド型と称する）とがある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記のオープン型では他の参加者の入札価格を知ることができるため、当該参加者は他の参加者の入札価格を見ながら入札価格を決定でき、価格が適度に推移すれば希望の商品を購入することができる可能性が高くなるという利点がある。しかしながら、オークションが終了するまでは自分の入札価格より高い価格が入札される可能性があるため、強く希望する商品がある場合には特にオークション終了間際で端末の画面を注視していなければならないという問題点がある。

【0005】 一方、クローズド型では他の参加者の入札価格を知ることができないため、落札可能な入札価格の決定が困難であるという問題点がある。また、必要以上に高価格の入札を行うことを恐れてオークションへの参加者が減少してしまうという出品者にとっての問題点もある。しかしながら、上述のオープン型のようにオークション終了間際に端末の画面を注視しなければならないという問題点はなく、自分の都合のよい時間に参加することができるという利点がある。

【0006】 また、入札希望者が入札価格を自由に設定できる場合、従来技術においてはキーボードから入札金額を投入する形態が取られているが、利用者端末におけるマウス操作を一時中断してキーボードにより入力する操作は煩雑であり、入力間違いも起こりやすいという問題点がある。本発明は上記の点に鑑みなされたものであり、オープン型とクローズド型の利点を兼ね備えたオークションを行い、更に、利用者の利便性を向上させたオークション方法及び装置を提供することを目的とする。

10 【0007】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するために本発明は次のように構成される。請求項 1 に記載された発明は、ネットワーク上で複数の利用者に対してオークションを行うオークション方法であって、少なくとも商品情報とオークション期間を利用者の端末に送信する商品表示ステップと、利用者の選択に応じて、入札額を入札状況として表示するオープン型入札を行うか、入札額を入札状況として表示しないクローズド型入札を行うかを利用者毎に選択する選択ステップと、前記オープン型入札のみに対応する入札状況を利用者の端末に送信し、該利用者の端末から入札額を受信する入札ステップと、前記オークション期間終了後に落札額及び落札者を決定する決定ステップとを有する。

【0008】 本発明によれば、オープン型の入札とクローズド型の入札を併合して行うことができるので、端末に向い続けられる人のみに利用が限定されるというオープン型の問題点が解消され、オークション参加者への機会の均等性を与えることが可能となる。すなわち、本発明の併合型オークションにクローズド型で参加することにより、オープン型の入札状況を見て落札価格を予測して入札を行うことができる。更に、オープン型のオークションが有する利点、すなわち、商品の価格が上昇するために商品が高く売れるという利点が得られる。

【0009】 請求項 2 に記載の発明は、前記の構成において、前記入札ステップが、オープン型入札の利用者に対する入札下限額を利用者の端末に送信し、オープン型入札の利用者の端末から受信した入札額を入札下限額とするステップを有し、前記決定ステップが、オープン型入札の最後の入札額を第 1 の落札予定額とし、クローズド型入札における最高額の入札額を第 2 の落札予定額とするステップと、第 1 の落札予定額と第 2 の落札予定額とを比較して額の大きいほうを落札額に決定するステップとを有する。

【0010】 本発明によれば、併合型のオークションにおいて適切に落札者及び落札額を決定できる。請求項 3 に記載の発明によれば、前記構成において、前記クローズド型入札における最高額が複数である場合に、その複数の入札額の中で最も早く入札された入札額を前記第 2 の落札予定額とする。

【0011】本発明によれば、クローズド型の利用者に対して公平な決定を行うことができる。請求項4に記載の発明は、前記入札ステップにおいて、利用者の端末に表示する入札画面に前記入札額の入力に使用する金額加算ボタン及び金額減算ボタンを設けるようにしたものである。

【0012】本発明によれば、利用者はキーボード入力の煩わしさから解放される。また、キーボード入力間違いに起因する入力間違いを防止できる。請求項5～8に記載の発明は、本発明のオークション方法の実施に使用することができるオークションシステムである。本発明によっても上記の作用効果を得ることができる。

【0013】請求項9～12に記載の発明は、本発明のオークション方法をコンピュータに実行させることができるプログラムを記録した記録媒体である。本発明の記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータにインストールすることによって、そのコンピュータを用いて本発明のオークション方法を実施することができ、上記の作用効果を得ることができる。

【0014】

【発明の実施の形態】図1に本発明の一実施例におけるオークションシステム1の構成を示す。図1に示すようにオークションシステム1はウェブサーバ3（ウェブサーバはWWWサーバとも称される）、データベースサーバ5（DBサーバとも称される）、メールサーバ7がLAN接続された構成をとる。また、オークションシステム1はインターネット9を介して端末11と接続され、管理端末13がオークションシステム1のプライベートセグメントに接続される。なお、管理端末13はネットワークを介してオークションシステム1と接続してもよい。

【0015】オークションシステム1におけるウェブサーバ3が端末11から利用者のアクセスを受け、オークションサービスを端末11に提供する。データベースサーバ5は商品情報、個人情報、商品に対しての入札価格等を格納し、ウェブサーバ3、メールサーバ7と情報のやりとりを行う。なお、オークションシステム1の動作の詳細については後述する。

【0016】次に、本発明のオークションシステム1により提供されるオークションサービスについて、図2に示す端末11における画面の推移を基にして説明する。利用者が本発明のオークションシステム1のホームページにアクセスすると、約款等が記載されたオークションのトップページが表示され（ステップ1）、次に、商品の一覧画面が表示される（ステップ2）。商品の一覧画面には、商品の一覧、オークション種別、ある商品に対する入札可能期間、オークションが開催されているか閉じているかの区別等が表示される。

【0017】オークション種別として入札状況に関する種別と落札形態に関する種別があり、入札状況に関する

種別としては、入札状況を表示するオープン型、入札状況が非表示であるクローズド型、及びオープン型とクローズド型を併合させた併合型があり、落札形態に関する種別としては、商品の取り扱い個数が1個で入札価格で落札させる形態（シングルと称する）、商品の取り扱い個数が複数で入札価格で落札させる形態（パワーと称する）、商品の取り扱い個数が複数で最下位落札者の入札価格で落札させる形態（ダッチと称する）がある。

【0018】商品一覧画面からある商品を選択すると、商品詳細画面が表示される（ステップ3）。商品詳細画面には、商品説明、商品の初値、オークション期間、オープン型もしくは併合型の場合で参加が既にあればその状況が表示される。次に、自分がオープン型で参加するかクローズド型で参加するかを選択し（併合型の場合）、参加ボタンをクリックすると、初期利用者にはログイン画面が表示される（ステップ4）。初期利用者かそうでないかはクッキー（Cookie）の有無で判断される。

【0019】ログイン画面にてメールアドレス及び仮パスワード等が入力されると、初期利用者の場合にはユーザ登録画面にて必要事項を入力し（ステップ5）、登録ボタンを押すと、登録完了画面が表示される（ステップ6）。その際、本パスワードが登録メールアドレス向けにメールで配信される（ステップ7）。利用者はこの本パスワードを利用して次回ログインする。このように登録を二重段階にすることによりなりすましを防止できる。なお、初期利用者以外の利用者はログイン画面（ステップ4）からパスワード変更を行うことができる（ステップ8）。

【0020】登録が完了した利用者は再びトップページからログイン画面まで進み、そこで本パスワードによるログインを行うことによって入札画面が表示される（ステップ9）。ここでの参加ではクッキーがまだ機能していないのでログイン画面を経由して入札画面へ進むことになる。入札画面で利用者は入札価格を決定して入札を行う。また、入札時に自分のメールアドレスを入力するようにしてもよい。オープン型の場合、いまだに入札した価格よりも高い価格でないと入札できないようなロックをかけることができる。また、ここでのオークションが併合型で当該参加者がクローズド型で入札を行う場合には、当該参加者は現在の状況を見ることによりある程度落札価格を予測でき、その予測価格を入札することによって後は結果を待つことができる。

【0021】オークションが終了すると商品詳細画面は表示されず、入札結果画面が表示される（ステップ10）。入札結果画面には落札者及び落札金額が表示され、クッキーの機能により、落札者の端末には購入のページへのボタンが表示される。購入ボタンをクリックすることにより購入確認画面が表示され（ステップ1

1）、住所等を確認することによって購入処理が実行さ

れる。なお、購入に係る決済処理等は種々の方法をとることが可能である。

【0022】以上、本発明における基本的なオークションサービスの流れを説明したが、本発明では、(1)オープン型とクローズド型の併合型とすることができる他、(2)24時間逃げ切りルール、(3)時間延長設定等を適用することによって利用者の利便性を向上させている。また、(4)端末における入札画面に通貨単位の加算・減算ボタンを設け、このボタンの操作によって入札金額の入力を行うようにし、入札における操作性の向上も図っている。以下、これらについて説明する。

【0023】(1)オープン型とクローズド型の併合型ではオープン型参加者の入札状況が表示されるためオープン型参加者の価格よりも高めの価格を入力しておけば、クローズド型参加者でも落札の機会を増すことができる。商品の出品者にとっても、より高く販売することができるという利点がある。また、オープン型の参加者とクローズド型の参加者との公平を図るために、クローズド型の入札をオープン型に先行して締め切るようにしてもよい。この場合、クローズド締め切り後にも参加を希望する参加者はオープン型に参加することができる。

【0024】(2)24時間逃げ切りルールとは、出品されている商品が複数の場合に成立するものであり、例えば商品が10個出品されている場合、自分の入札価格が入札した時間から24時間たっても上位10人以内にあれば落札できるというルールである。

(3)時間延長設定とは、例えば、締め切り5分前を過ぎて入札があったときに入札を延長するというものである。オープン型のオークションでは締め切り間際に入札が盛んになり、価格も上昇する場合が多い。従って、締め切り間際に入札がある場合に締め切り時間を延長することによって延長しない場合より高額での落札を期待することができる。

【0025】(4)入札画面における通貨単位の加算・減算ボタンの例を図3に示す。同図において、例えば「-100円」を押せば入札金額テキストボックスに表示された金額が100円減算され、「+100円」を押せば100円加算される。この機能はウェブサーバ3において図4に示す関数及びHTML構文により実現できる。図4は「+100円」の例を示しており、加算・減算処理を関数(1)で定義し、この関数とボタンをHTML構文(2)で関連付けて、ボタン操作により入力金額を設定できるようにしている。この入力インタフェースによって、キーボード入力を行う必要がなくなるため、操作性が向上する。また、加算・減算のボタン操作の結果が入札金額テキストボックスに反映されるため、入力間違いがなくなる。

【0026】次に、図2で示した各画面の処理におけるオークションシステム1の動作について主要なものを説明する。なお、下記の動作は主にオークションシステム

1におけるウェブサーバ3上でのプログラムにより実現される。また、以下の例は商品が1つの場合を示している。図5はログイン処理における動作を示すフローチャートである。オークションシステム1はまず、端末11からのメールアドレスとパスワードの入力があると(ステップ1)、その中にメールアドレスメールアドレスがあるかどうかを調べ(ステップ2)、なければ端末に対して入力を求め、あればステップ3に進む。ステップ3では受信したメールアドレスが登録されているかどうかをデータベースサーバ5を参照して調べ、登録されていなければ新規登録処理に進み、登録されていればステップ4に進む。ステップ4では、受信したパスワードが該当する登録メールアドレスに対応する登録パスワードと一致するかどうかを調べ、一致すれば入札処理に進み、一致しなければパスワードの入力を求める。

【0027】図6に新規登録処理における動作のフローチャートを示す。まず、オークションシステム1は端末11からメールアドレス、住所、氏名、ニックネーム等を受信する(ステップ1)。次に、本パスワードとメールアドレスがメールサーバ7に渡され、メールサーバ7はその本パスワードを端末11にメールで配信する(ステップ2)。

【0028】次に、図7を用いてオープン型の入札処理における動作を説明する。まず、入札の下限額を端末11に対して表示する(ステップ1)。なお、入札下限額は予め定めた初期値もしくはこれまでの入札の最高額である。端末11でメールアドレスと落札希望額が入力されると、ウェブサーバ3はそれらを受信し(S2)、ステップ3においてその入札の時間が入札締め切り時間前かどうかを調べ(ステップ3)、時間前でなければ端末に対して入札が無効である旨の表示を行い(ステップ4)、時間前であれば現時刻を入札時刻に設定する(ステップ5)。続いて、入力メールアドレスを落札候補者に設定し(ステップ6)、入力された落札希望額を落札予定額に設定する(ステップ7)。そして、その落札予定額を入札下限額に設定する(ステップ8)。なお、ここで示した処理では、入札下限額より小さい額の入力を禁止するようにしてもよい。また、上記の処理から明らかのように、オークション期間内で最後に入札を行った入札額が最高額となる。

【0029】次に、図8を用いてクローズド型の入札処理における動作を説明する。まず、入札開始前に複数の入札を識別するための数Nに1を設定しておく。端末11でメールアドレスと落札希望額が入力されると、ウェブサーバ3はそれらを受信し(ステップ1)、ステップ3においてその入札が入札締め切り時間前かどうかを調べ(ステップ2)、時間前でなければ端末に対して入札が無効である旨の表示を行い(ステップ3)、時間前であれば現時刻を入札時刻Nに設定する(ステップ4)。続いて、入力メールアドレスを落札候補者Nに設定し

(ステップ5)、入力された落札希望額を落札予定額Nに設定する(ステップ6)。そして、Nに1を加算する(ステップ7)。

【0030】なお、オープン、クローズドの併用型での入札処理については、オープンの入札者に対しては図7で示したオープン型の入札処理がなされ、クローズドの入札者に対しては図8で示したクローズド型の入札処理がなされる。図9にオープン型での落札者決定処理における動作のフローチャートを示す。オープン型では入札処理において最高値での入札者が落札候補者に設定されているため、落札者決定処理では落札候補者を落札者に設定し(ステップ1)、落札候補額を落札額に設定する(ステップ2)ことで処理を終える。

【0031】図10にクローズド型での落札者決定処理における動作のフローチャートを示す。クローズド型では入札処理においてN個の落札予定額が存在するため、まず、ステップ1にてN個の落札予定額の中で最高額が1つかどうかを調べる。最高額が1つであればその最高額の落札予定額Iを落札予定額cに設定する(ステップ2)。最高額が複数ある場合には、複数の最高額の落札予定額の中で最も早く入札された落札予定額Iを落札予定額cに設定する(ステップ3)。続いて、落札候補者cを落札者に設定し(ステップ4)、落札予定額cを落札額に設定する(ステップ5)。

【0032】図11にオープン、クローズドの併用型での落札者決定処理における動作のフローチャートを示す。まず、オープン型での落札候補者を落札候補者oに設定する(ステップ1)。次に、オープン型での落札予定額を落札予定額oに設定する(ステップ2)。続いて、クローズド型でのN個の落札予定額の中で最高額が1つかどうかを調べ(ステップ3)、最高額が1つであればその最高額の落札予定額Iを落札予定額cに設定する(ステップ4)。最高額が複数ある場合には、複数の最高額の落札予定額の中で最も早く入札された落札予定額Iを落札予定額cに設定する(ステップ5)。続いて、落札候補者Iを落札候補者cに設定する(ステップ6)。

【0033】次に、オープン型での落札予定額oとクローズド型での落札予定額cとを比較し(ステップ7)、落札予定額o > 落札予定額cであれば落札候補者oを落札者に設定し(ステップ8)、落札予定額oを落札額に設定する(ステップ9)。落札予定額o > 落札予定額cでなければ落札候補者cを落札者に設定し(ステップ10)、落札予定額cを落札額に設定する(ステップ11)。

【0034】さて、本発明に係るオークションサービスは図1に示す管理端末13で管理が行われる。次に、管理端末13における画面の推移を示す図12を用いて、オークションサービスの管理について概要を説明する。まず、管理者は管理ページログイン画面にてアカウン

ト、パスワードを入力する(ステップ1)ことによりログインする。メニュー画面では、販売管理、レポート及びアカウント管理等の各機能を選択でき(ステップ2)、販売管理におけるオークション一覧を選択することによりオークション一覧画面が表示される(ステップ3)。オークション一覧画面(ステップ3)からアクセスできるオークション編集登録画面(ステップ4)にて商品に対応したオークションの設定を行うことができ、例えば、商品名、オークションタイプ、オークションの開閉期間等を設定することができる。また、最低入札価格、最低落札価格、上げ幅、予約価格、代引き・銀行振込等の決済方法等も設定できる。ここで、予約価格とは、当該価格に達すれば落札者を決定するという価格である。

【0035】メニュー画面からアクセスできるレポート画面ではユーザ情報及びオーダー情報の検索を行うことができる。例えば、ユーザ情報レポート画面(ステップ5、6)ではある時期からある時期までに商品を購入したユーザが何人いるか等の情報を取得することができ、オーダー情報レポート画面(ステップ7、8)ではある商品を落札したユーザ情報等を検索できる。レポート機能によってマーケティングに使用する情報を取得することが可能となる。

【0036】その他、図12に示すように、部門登録編集(ステップ9、10)、商品登録編集(ステップ11、12)、アカウント登録編集(ステップ13、14)等を行うことができる。本発明のオークションシステムの構成は図1に示したオークションシステム1に限定されない。例えば、ウェブサーバ、メールサーバ、データベースサーバの何れかを負分散構成あるいは冗長構成としたり、全処理を1台のコンピュータで行わせることも可能である。また、オークションシステムが複数のサーバで構成される場合にそれぞれのサーバが遠隔にあっても構わない。

【0037】上述した実施例に示した処理を行うプログラムをコンピュータにインストールすることによって、本発明のオークションシステムを構成することが可能となる。そのプログラムはコンピュータにブレインストールされていても良いし、そのプログラムをCD-ROMやフロッピー(登録商標)ディスク等のコンピュータ読み取り可能な記録媒体に格納し、その記録媒体からコンピュータにプログラムをインストールしてもよい。

【0038】以上、本発明を実施例に基づき具体的に説明したが、本発明は本実施例に限定されるものではなく、本発明の主旨を逸脱しない範囲において種々変更可能である。

【0039】

【発明の効果】本発明によれば、オープン型とクローズド型を併合したことによって、両者の利点を兼ね備えたオークションサービスを提供することが可能となる。ま

た、利用者がキーボードを使用せずに入札金額を入力することを可能としたため、操作性のよいオークションサービスを提供することが可能となる。更に、本発明ではクッキーを使用しているため、ログインを行った後はパスワード等を入力しなくても入札画面にアクセスすることが可能となり、利用者の利便性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例におけるオークションシステムの構成を示す図である。

【図2】利用者端末における画面の推移を示す図である。

【図3】入札画面における通貨単位の加算・減算ボタンの例を示す図である。

【図4】加算・減算ボタンの機能を実現するための関数及びHTML構文を示す図である。

【図5】ログイン処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャートである。

【図6】新規登録処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャートである。

【図7】オープン型の入札処理におけるオークションシ

ステムの動作を表すフローチャートである。

【図8】クローズド型の入札処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャートである。

【図9】オープン型の落札者決定処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャートである。

【図10】クローズド型の落札者決定処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャートである。

【図11】オープンとクローズドの併合型の落札者決定処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャートである。

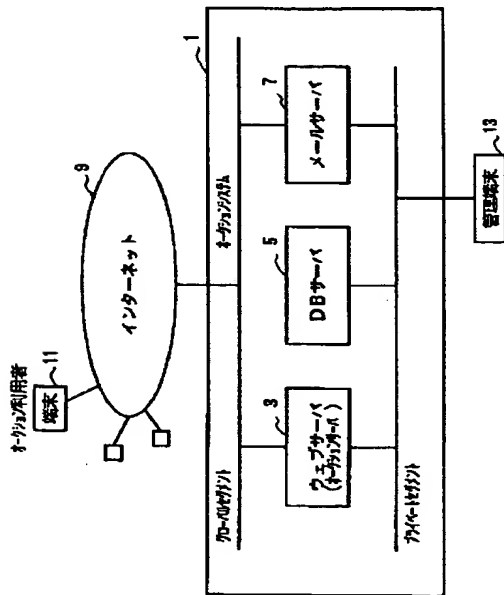
【図12】管理端末における画面の推移を示す図である。

【符号の説明】

- 1 オークションシステム
- 3 ウェブサーバ
- 5 データベースサーバ
- 7 メールサーバ
- 9 インターネット
- 11 端末
- 13 管理端末

【図1】

本発明の一実施例におけるオークションシステムの構成を示す図

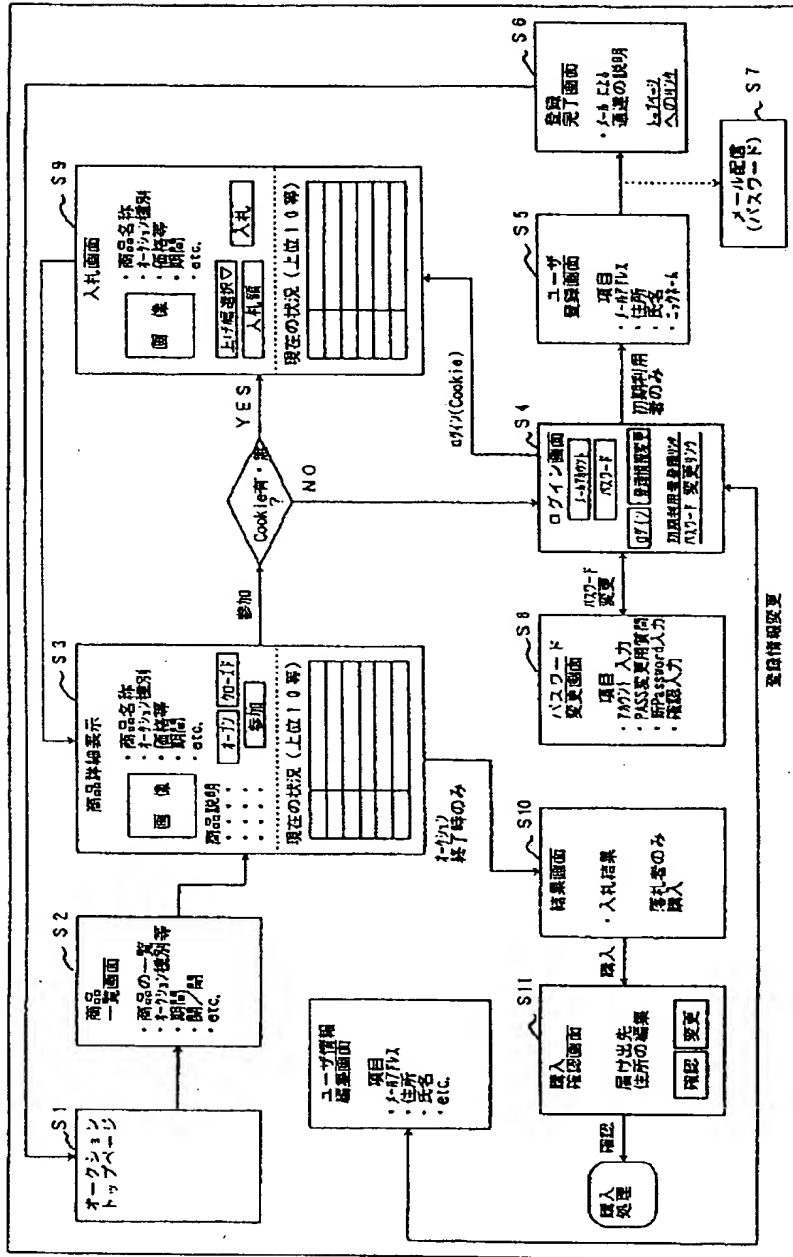


【図3】

入札画面における通貨単位の加算・減算ボタンの例を示す図

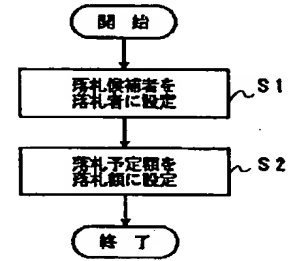
【図2】

利用者端末における画面の推移を示す図



【図9】

オープン型の落札者決定処理におけるオークションシステムの動作 表すフローチャート



【図4】

加算・減算ボタンの機能を実現するための関数及びHTML構文を示す図

```

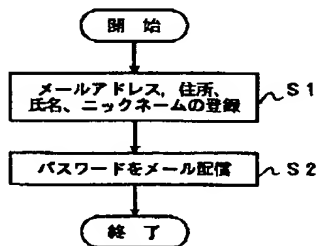
関数(1):
function plus10() {
  if(document.form1.txtdPrice.value=="") {
    document.form1.txtdPrice.value=parseFloat(0);
  }
  document.form1.txtdPrice.value=parseFloat(document.form1.txtdPrice.value)+10;
}

HTML構文(2):
<INPUT type="button" value="+10円" onClick="plus10()" id="button4 name=button4">

```

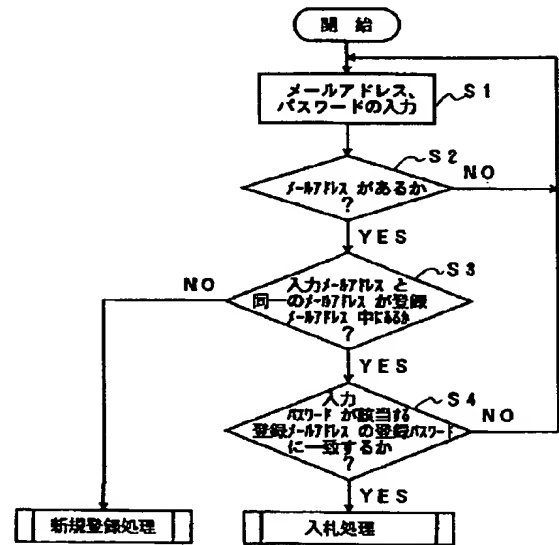
【図6】

新規登録処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャート



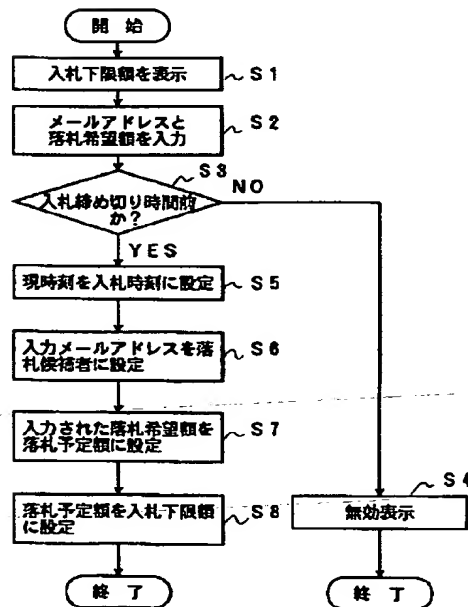
【図5】

ログイン処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャート



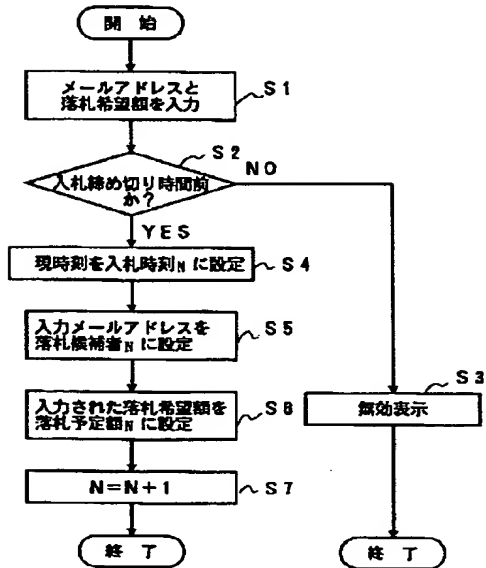
【図7】

オープン型の入札処理におけるオークションシステムの動作を表すフローチャート



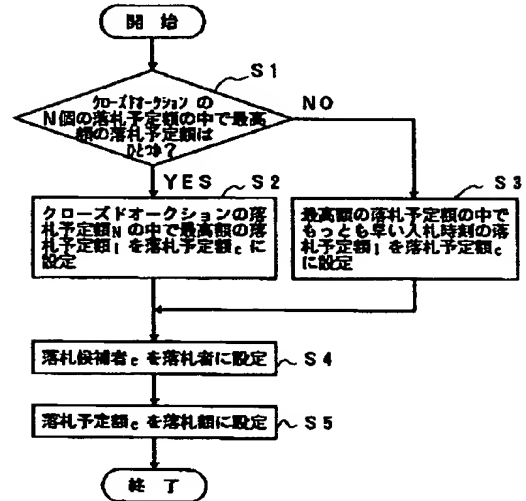
【図8】

クローズド型の入札処理におけるオークション
システムの動作を表すフローチャート



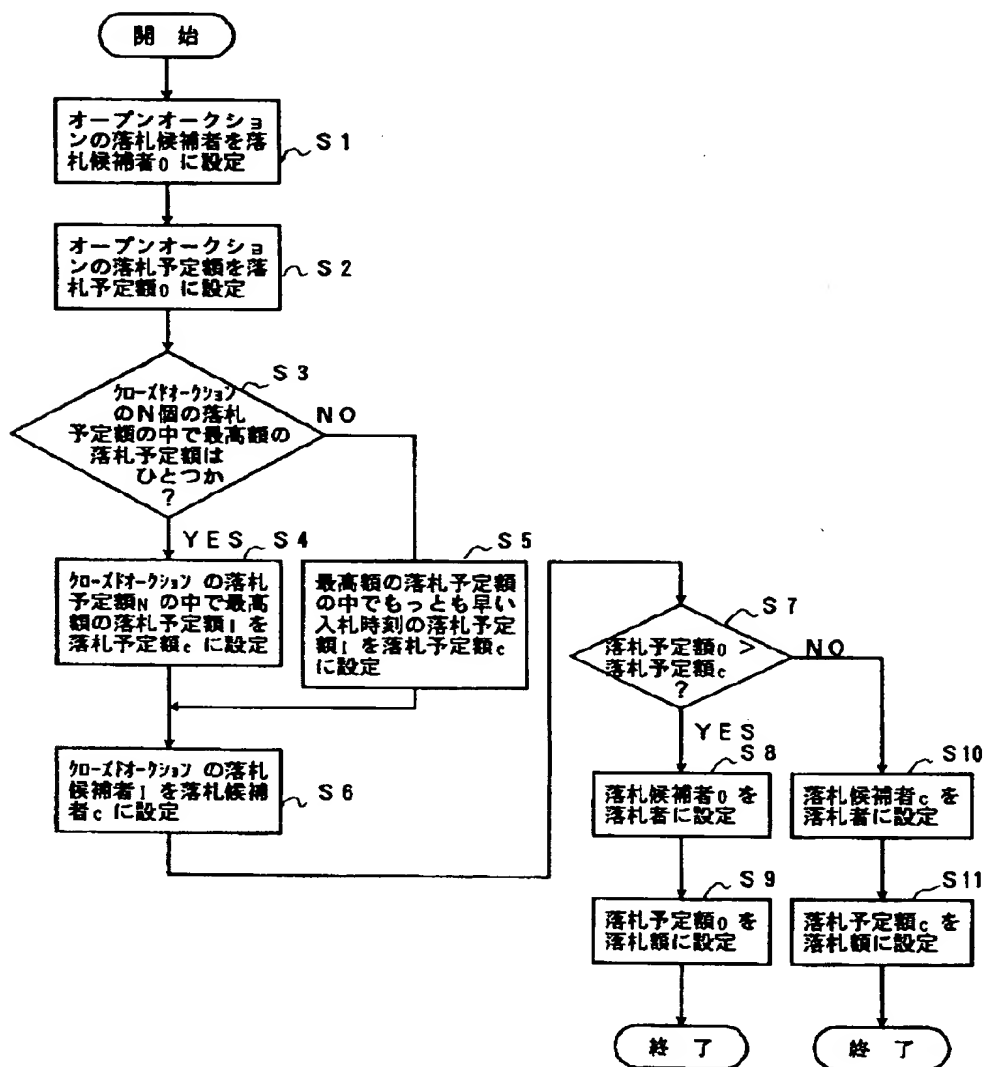
【図10】

クローズド型の落札者決定処理におけるオークション
システムの動作を表すフローチャート

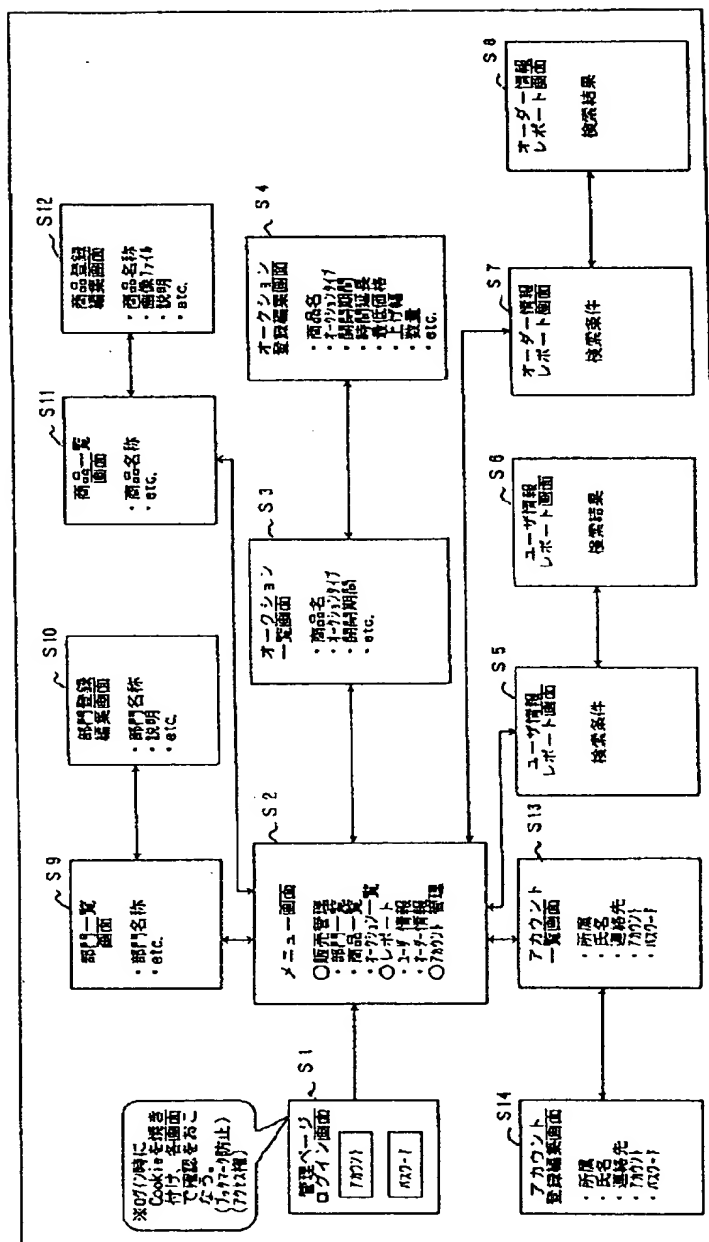


【図11】

オープンとクローズの併合型の落札者決定処理における
オークションシステムの動作を表すフローチャート



管理端末における画面の推移を示す図



(72) 発明者 渡部 哲也
東京都港区新橋 6 丁目 1 番 11 号 株式会社
エヌ・ティ・ティ・ピー・シーコミュニケー
ションズ内

(72)発明者 ▲蠟▼山 伸幸
東京都港区新橋6丁目1番11号 株式会社
エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケー
ションズ内

(72)発明者 伊藤 芳範
東京都港区新橋6丁目1番11号 株式会社
エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケー
ションズ内

(72)発明者 大内 幸雄
東京都港区新橋6丁目1番11号 株式会社
エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケー
ションズ内

Fターム(参考) 5B049 AA02 BB11 BB36 CC03 CC05
CC10 DD01 EE05 FF03 GG02
GG04 GG07